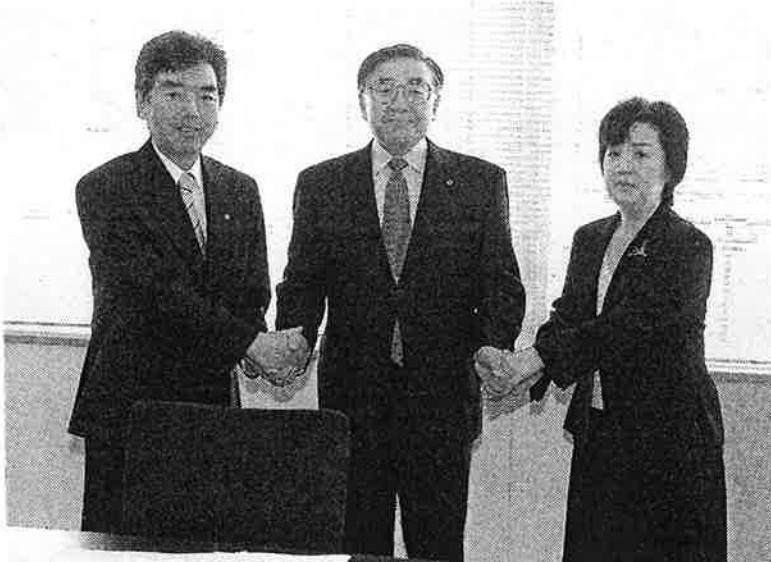


中学生の就労意欲向上へ

横須賀

3者トップ協力確認

商議所
市と教委



プロジェクト推進への協力を確認する蒲谷市長、木村会頭、永妻教育長(左から)＝横須賀商議所

プロジェクト開始宣言

横須賀商工会議所が横須賀市や市教育委員会と連携して取り組む「中学生自分再発見プロジェクト」のスタートを宣言する式典が十六日、同市平成町の同商議所で開かれた。三者のトップである木村忠昭会頭、蒲谷亮一市長、永妻和子教育長が出席し、プロジェクトの意義や推進への協力を確認し合った。

(高野 学)

プロジェクトは市内の中学生の就労意欲を高めようと、同商議所が主導して一年間の体系的な教育カリキュラムを考案した。不入斗と坂本の両市立中学校をモデル校に二〇〇八年度に実践する。フリーターやニートの問題の解決に先手を打ち、人口減少社会に突入した同市の将来の産業界を担う人材を育てることを主眼にしている。

この日の式典では、木村会頭が「地域産業が積極的に子供たちの教育にかかわり、十年、二十年後には横須賀を活性化してくれる人材になってくれることを期待したい」とプロジェクト

の趣意書を読み上げ、スタートを宣言した。蒲谷市長は「産業界側からの発案で画期的な取り組みが実現できて横須賀の地域力を感じる」と感謝。永

妻教育長も「子供たちが横須賀に愛着心を持てる大きな手だてになる」とあいさつ。トップ三人で握手し合い、プロジェクト推進への協力を確認し合った。